



広報うじたわら

臨時号 No. 552
2014

特集号

平成26年度 当初予算案

新しい未来を拓く ^{ひら} 宇治田原予算	02
5項目の重点対策	03
協働のまちづくりの推進	04

発行・編集：宇治田原町役場総務課 ☎610-0289 京都府綴喜郡宇治田原町大字荒木小字西出10番地 TEL (0774) 88-2250 FAX (0774) 88-3231 印刷：(有)新進堂印刷所 宇治市宇治妙楽9

●町長直通メール nishitani@town.ujitawara.kyoto.jp ●町長直通FAX 88-2011 ●ホームページアドレス <http://www.town.ujitawara.kyoto.jp>



新しい 未来を拓く^{ひら}



平成26年度の当初予算(案)がまとまり、3月6日開会の町議会定例会に提案しました。平成26年度予算案は、厳しい財政状況の中でも、町の新たな発展のための基盤整備や住民の命とくらしを守る安心安全対策、福祉の充実など5項目の重点分野に積極的な予算配分を行い、単年度としては9年ぶりに40億円を超える積極型予算としています。

安心・安全対策

防災・減災・防犯対策など住民の命とくらしを守る施策に取り組みます。



新庁舎建設計画事業 **新規** 12,000千円

役場庁舎の老朽化や行政需要の増大に対応するため、危機管理機能も備えた防災の拠点となる新庁舎の建設に向けて、基本構想及び基本計画を策定します。

地域防犯推進事業 **拡充** 3,061千円

地域の安心・安全を確保するため、旧田原交番跡地に、青色回転灯の付いた(仮称)安心安全防犯ステーション「警察官立寄所」を町内産材を活用して整備します。

河川改修事業 **新規** 40,300千円

近年の豪雨や台風による災害を踏まえ、町が管理する普通河川を対象に、拡幅や護岸の改修など、浸水被害を低減させる工事を行います。

自主防災組織支援事業 **拡充** 3,732千円

自主防災組織にスコップ、土のう袋などの防災資材を支給するほか、各組織が行う防災資機材・備蓄物資などの整備に対する補助を拡充します。

キッズ防火隊促進事業 **新規** 243千円

将来の地域防災を担う人材育成のため、自主防災組織などが組織する「キッズ防火隊」に必要な備品を貸与し、発足を支援します。

まちづくり・成長基盤整備対策

インフラ整備や循環型社会の実現などまちの未来を創造する投資的施策を推進します。



第5次まちづくり総合計画策定事業 **新規** 12,066千円

平成27年で計画期間が終了する現行計画に代わり、これからの町政運営の羅針盤となる「第5次まちづくり総合計画」を2か年で策定します。

宇治田原山手線整備事業 **新規** 33,019千円

国道の渋滞緩和や災害時におけるバイパス機能をもつ宇治田原山手線の整備に向け、国道307号以北分の設計・測量をNEXCO西日本と連携して実施します。

集落内生活道路改良事業 **拡充** 87,733千円

住民生活の利便性、安全性、快適性を確保するため、地域からの要望などにに基づき、住民生活に密着した生活道路の整備改良を行います。

道路ネットワーク検討事業 **新規** 3,021千円

新名神高速道路の完成を見据え、慢性的な渋滞などの諸課題を解決するため、京都府と連携しながら新たな道路ネットワークの整備に向けた検討を行います。

家庭用資源有効利用設備設置補助事業 **新規** 300千円

水資源の有効利用や再資源化を通じて環境への意識向上を図るため、これまでの生ごみ処理容器に加え、雨水貯留タンクの購入に対しても補助を実施します。

産業・観光振興対策

農林業や観光の振興など、地域の産業・経済・雇用を活性化させる取組を進めます。



町内産材活用バス停整備費補助金 **新規** 3,250千円

バス会社と連携し、町内産材を活用したバス停を整備することで、バス利用者の利便性向上や、町内産材の活用促進を図ります。

観光振興計画策定事業 **新規** 7,500千円

豊かな自然や文化、歴史などの観光資源の掘り起しを行い、町の観光的魅力の向上と地域の活性化につなげるための指針となる観光振興計画を策定します。

大福茶園再造成事業 **新規** 23,480千円

茶どころ宇治田原として宇治茶の更なる生産振興を図るため、造成から年月が経った湯屋谷地区大福集団茶園の再造成に取り組みます。

福祉・健康長寿対策

すべての人が健康で安心して生活でき、幸せを実感できる福祉のまちづくりに取り組みます。



多子家庭応援保育料軽減事業 **新規** ー

子どもを安心して生み育てやすい環境づくりのため、保育料の第3子無料化の対象児童を小学生まで拡大し、子どもが3人以上いる家庭の経済的負担を軽減します。

保育所安心安全対策事業 **拡充** 2,662千円

保育所の子どもの安全確保のため、これまでの安全巡回員の配置に加え、保育所入口の電気錠化とモニター付インターホンの設置により不審者対策を強化します。

各種がん検診事業 **拡充** 7,514千円

死亡原因第1位であるがんの早期発見のための各種がん検診事業について、前立腺がん検診を新たに対象とするほか、胃がん検診の拡充も行います。

町内産材活用やすらぎ荘浴室整備事業 **新規** 5,500千円

高齢者のふれあいと憩いの場であるやすらぎ荘の浴室を、町内産材を活用して改修することにより、木のぬくもりのある快適な浴室空間を整備します。

教育対策

学力向上や教育環境の充実に取り組み、未来を担う子どもたちの健全育成を図ります。



英語力向上推進事業 **新規** 450千円

グローバル社会を生きる子どもの英語力の向上と学習意欲の向上を目指し、中学生が受験する英語検定の費用を全額補助します。

宇治田原ふるさと文化賞実施事業 **新規** 158千円

町内小・中学生を対象に「私たちの宇治田原」をテーマとした俳句を募集。ふるさとの再認識・再発見につなげることで郷土愛の育成を図ります。

健康トライ!いきいきスポーツ実践事業 **新規** 198千円

ポイントを貯めることでトレーニングルームの無料利用ができる「貯筋カード」や「運動実践カレンダー」を作成することにより、住民の運動意欲を高めます。

新しい未来を拓く ^{ひら} 宇治田原予算

当初予算 41億4,800万円

対前年度比 7.2%増

予算のあらまし

注：増減額(率)は対前年度比

歳入

一般財源の状況		
町税収入	+ 385万円	(0.3%増)
地方交付税	+ 7,000万円	(8.5%増)
地方譲与税、各種交付金	+ 890万円	(4.2%増)
臨時財政対策債	△ 1,490万円	(5.7%減)

歳出

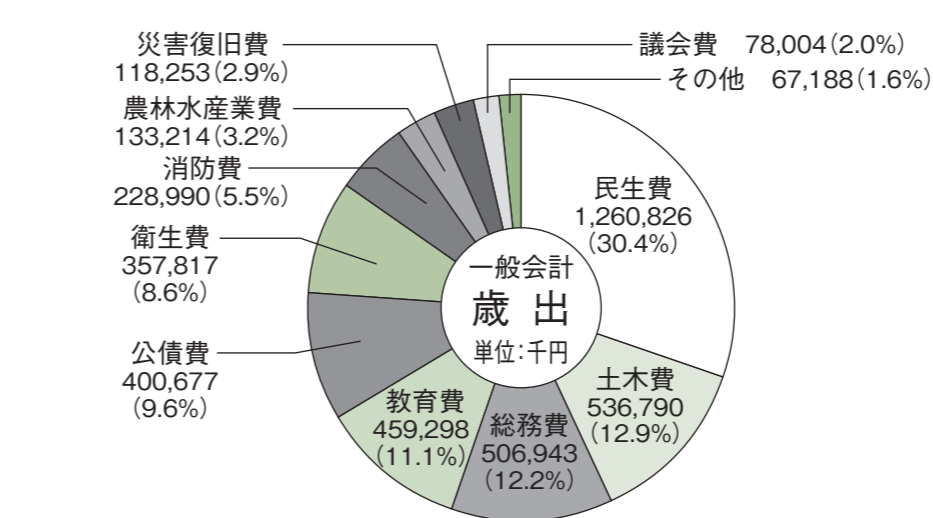
①義務的経費の推移		
人件費	△ 348万円	(0.4%減)
扶助費	+ 3,870万円	(8.2%増)
公債費	△ 951万円	(2.3%減)
②投資的経費の推移		
普通建設事業費	+ 1,075万円	(3.3%増)
災害復旧費	+ 1億660万円	(914.7%増)
③その他経費の推移		
物件費	+ 8,335万円	(13.9%増)
補助費等	+ 4,927万円	(8.1%増)
繰出金	+ 1,494万円	(3.2%増)

予算要求時における収支不足

△3億5,300万円

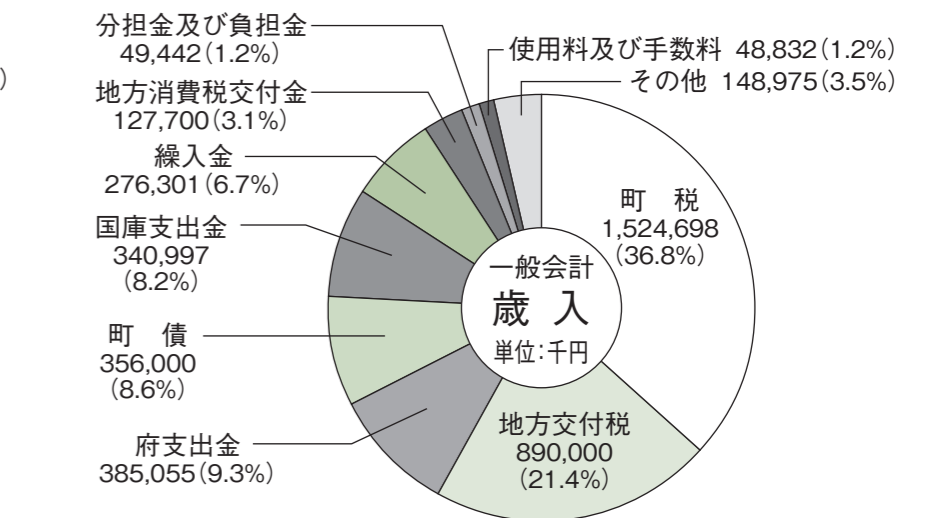
■ 財政調整基金残高

㊸12億1,377万円(見込み) ㊹13億7,987万円(見込み) ㊺14億3,583万円



■ 地方債残高

㊸39億8,894万円(見込み) ㊹39億6,234万円(見込み) ㊺39億7,170万円



会計別の当初予算(案)

会計名	予算額(千円)	前年度比(%)
一般会計	4,148,000	7.2
国民健康保険	1,095,766	8.9
後期高齢者医療	88,537	△0.1
介護保険	724,620	4.0
奥山田地区簡易水道事業	56,794	21.4
公共下水道事業	709,200	51.2
水道事業会計	506,883	△12.5
総額	7,329,800	8.5

3月町議会定例会日程

会期 3月6日(水)～28日(金) 23日間

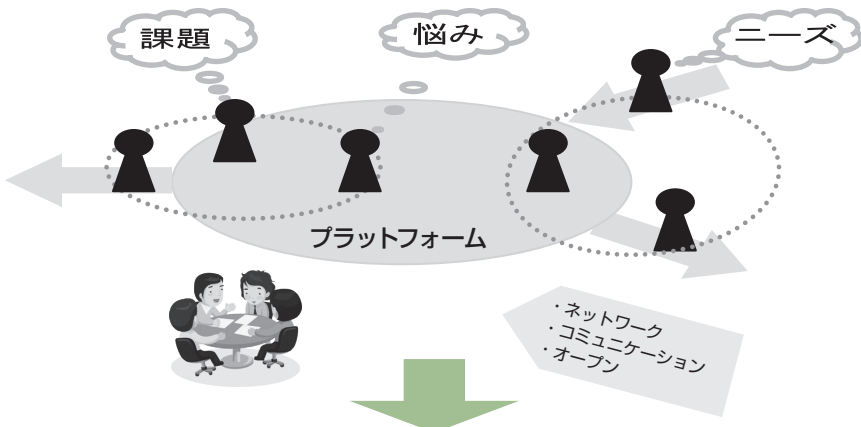
種別	期日・開会時刻
本会議	開会 6日(水) 午前10時
	一般質問 10日(日) 午前10時
	11日(月) 午前10時(予備日)
	再開日 17日(日) 午前10時
常任委員会	28日(金) 午前10時
	総務産業常任委員会 13日(水) 午前10時
	文教厚生常任委員会 14日(木) 午後1時30分
特別委員会	補正予算特別委員会 12日(土) 午前10時
	18日(木) 午前10時
	20日(土) 午前10時
	24日(日) 午前9時
	25日(月) 午前10時

協働の場「プラットフォーム」の設置

ともに創るまちづくり推進協議会

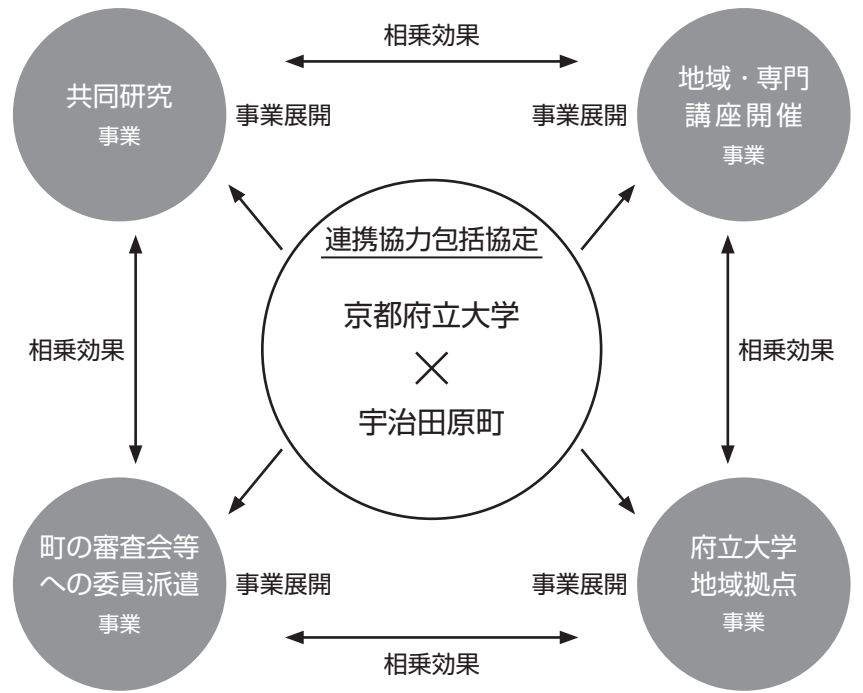
- 「町とともに創るまちづくり推進条例」の具現化
- 「町とともに創るまちづくり推進計画」の推進母体

いろいろな人・団体が共通する課題に対して集まり、協議する場「プラットフォーム」を設置



みんなの知恵やネットワークを活かすことで、よりよい課題解決や価値をともに創造します

京都府立大学との連携



『大学の知』を活かしたまちづくりを推進します

信頼と 思いやり で協働のまちづくり



行財政改革の着実な実行

宇治田原町第5次行政改革大綱及び同実施計画

- 行政改革大綱は、「行財政改革」全体を推進するための指針
- 実施計画は、大綱に定められた柱に沿って体系的に取り組むべき事項を明らかにした計画（計画期間：平成25～29年度）

◆ 改革に向けた4つの柱

- ・ 住民の視点に立った質の高い行政サービスの提供と協働のまちづくりの推進
- ・ 継続的な財政改革
- ・ 事務事業の改善、合理化、経費の縮減による歳出の削減
- ・ 組織・人事制度の見直しと人材育成の推進

職員の意識改革、特別会計の健全化、事務事業の見直しなど「選択と集中」による行財政改革を推進します

いきいき宇治田原職員提案制度事業

「いきいき宇治田原職員提案制度」は、職員一人ひとりが創意工夫により経費を極力かけずにサービス効果を発揮する事業、また、職員の気づきにより、積極的に事務や事業の改善を行うなど、新しい発想による職員からの提案を事業化していくものです。経費をかけない、創意工夫による事業の実施により、住民サービスの向上へとつなげていきます。

ゼロ予算事業

～経費を極力かけない事業～

- ▶ 安心・安全な地域づくりパトロール事業
- ▶ まちの名人～あんな人、こんな人～紹介事業
- ▶ ～高めよう！政治や選挙への関心～
新成人、模擬投票事業

事務・事業の改善

～気づきの中で積極的に事務改善～

- ▶ ～眠っていませんか？ボールペン～
事務用品リユース事業